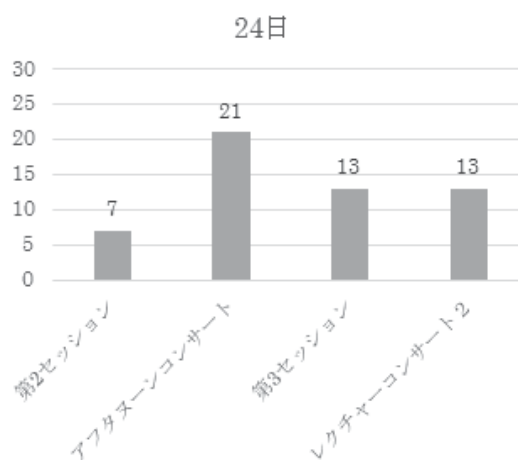
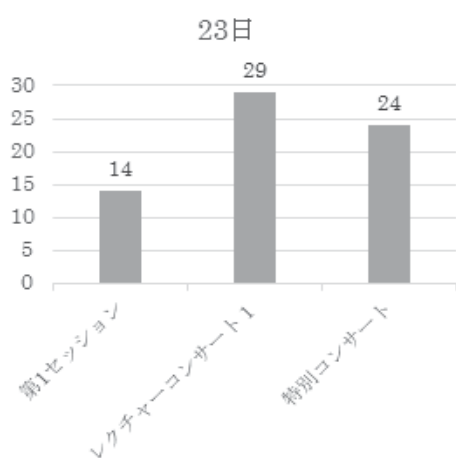


## アンケート集計結果

深堀彩香 愛知県立芸術大学音楽学部非常勤講師

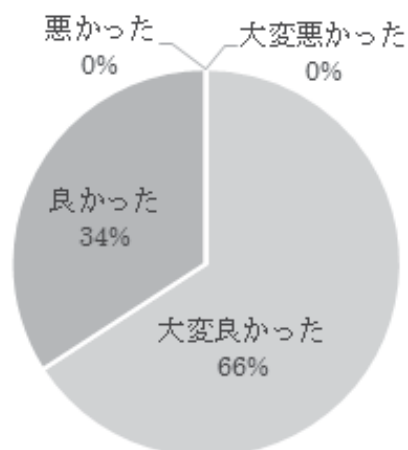
平成 28 年 9 月 23 日、24 日に開催された国際シンポジウム「異文化へのまなざし」の来場者は、二日間で延べ 500 名に上った。全ての来場者を対象にアンケートを実施したところ、59 名から回答を得た。その集計結果を以下に報告する。

### ご参加いただいた催し（複数可）



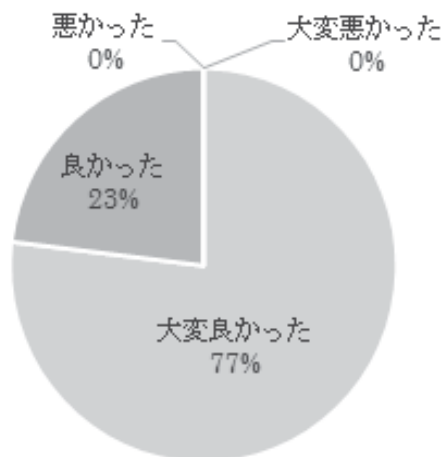
### 研究発表はいかがでしたか？

- ①大変良かった：27
- ②良かった：14
- ③悪かった：0
- ④大変悪かった：0



### コンサートはいかがでしたか？

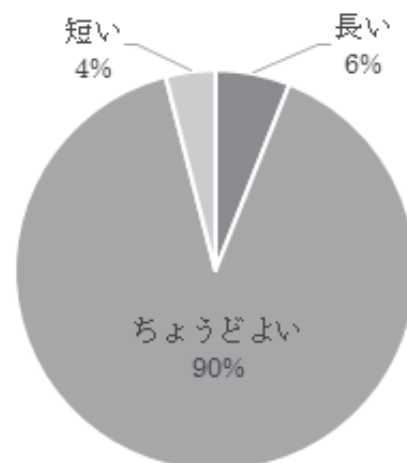
- ①大変良かった：40
- ②良かった：12
- ③悪かった：0
- ④大変悪かった：0



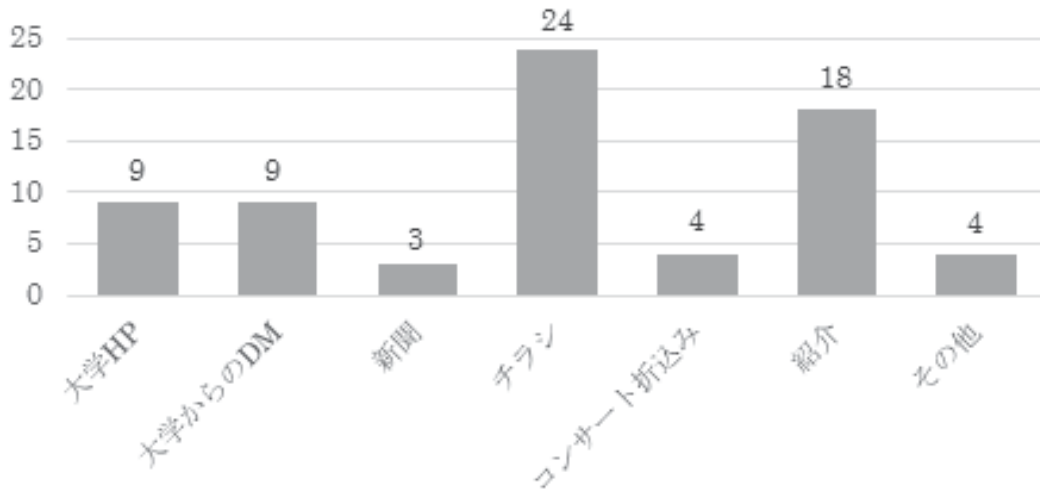
■ 大変良かった ■ 良かった ■ 悪かった ■ 大変悪かった

### 公演時間はいかがでしたか？

- ①長い：3
- ②ちょうどよい：45
- ③短い：2



## 本日の催しを何でお知りになりましたか？



来場者から各プログラム（研究発表3セッション、コンサート4件）に対して様々な感想が寄せられた。

まず、各研究者が最先端の研究内容を取り上げた研究発表については、専門的なテーマでありながらも、音源や映像、図版等を用いた解りやすい発表であったため、その興味深く濃い内容を評価する声が集まった。その一方で、質疑応答の時間が十分に確保できず、フロアーと発表者とのやり取りが最小限に止まってしまったことを惜しむ声も聞かれた。コンサートについては、素晴らしい演奏への称賛や、「レクチャーを交えることで理解が深まり、より演奏を楽しめた」といった感想が多かった。

国際シンポジウム全体としては、「大変興味深い催しだった」「異文化理解に大変興味をもった」といった好意的な感想が非常に多く、「もっと多くの人に聴いてもらいたい」という理由から広報の充実を求める感想もみられた。この他、スタッフへの心温まるねぎらいと感謝の言葉が多数寄せられた。